

(様式3) 【学校用】

### ふるさと教育 取組事例

学校名	益田市立東陽中学校		
学 年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
2	総合的な学習の 時間	東陽クローバープロジェクト (種公民館と連携した ふるさと探訪学習「石見神楽」)	種神楽社中・カグラボ・種公民館・ 大学生インタビューに協力してくださ った方
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとについて知り、人と関わって関係性を深めることで、主体的に考えて行動することができる資質能力と郷土愛を育てる。(鍛える)</li> <li>・課題解決の方策を探究する中で、生徒同士や校外の方との人間関係づくりを促す。(認め合う)</li> <li>・地域のもつ文化やその魅力を知り、発信の方法を考え、地域貢献に努めようとする意識を培う。(挑戦する)</li> </ul>		
<p>1 取組の概要</p> <p>5/23 毎年行っている「ふるさと探訪学習」で2年生は、種公民館に出かけた。種公民館長のお話の後、種神楽社中の皆さんの神楽を鑑賞した。社中の皆さんにお話を聞いたり、神楽の衣装を着たりする体験も行った。</p> <p>→石見神楽の情報を発信するために、歴史・人・音響・内容・衣装・社中(稽古・広報・場所)についてグループで調べる学習を行った。</p> <p>7/7 石見神楽の情報を市外の方へ発信する準備として、カグラボの皆さんに発表を見てもらい、専門家としてのアドバイスをいただき、発表内容のブラッシュアップを図った。</p> <p>8/29 益田市に來ている大学生に、石見神楽の魅力をPRする発表会を行った。アイスブレイクの後、班ごとに20分間の発表を2回ずつ行った。</p> <p>10/20 益田市内(東陽中校区内)9か所で石見神楽の認知度や人気度を調査するインタビューを行った。副班長が、インタビュー結果を集計し、大学生にPRするポスターを作成した。</p> <p>11/11 修学旅行1日目 大正大学の学生との交流を行い、石見神楽についてのPRを行った。</p> <p>11/12 修学旅行2日目 東京都内の2か所(日比谷しまね館・文京区シビックセンター)で石見神楽についてインタビューを行った。2か所の施設には事前にインタビューを行うことを周知してもらっていた。当日は、80名の方にインタビューすることができた。</p> <p>2/19 今回の学習に協力して下さった皆さんに、学習の総まとめを発表した。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>ふるさとに根付く石見神楽という伝統文化について調べたり、それを守り伝え続けている人々の姿を見たり、対話したりすることを通じて、ふるさとへの愛着を深められるようにした。</p> <p>また、ふるさとで活躍する人々の生き方に触れることで、自らのキャリア形成のきっかけになるようにした。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>1年間を通して石見神楽について学習していく中で、「課題設定」「情報収集」「整理分析」「まとめ発表」というサイクルを繰り返して、探究を深められるようにした。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>総まとめ発表後の振り返りから、この学習を通して、「それまで神楽に興味はなかったが、神楽に興味を持つようになった」、「もっと知りたいと思うようになった」という生徒がいた。また、「初めは田舎の伝統行事的なものと思っていたが、そうではなく時代の流れに流されずに伝えられてきた、島根の大切な行事だということが分かった」という感想があり、ふるさとの宝への理解が深まることで、ふ</p>			

※取組の様子がわかるような画像を数枚貼り付け、ファイルのデータサイズが500kb以下となるようにしてください。  
 ※この事例をしまねのふるさと教育ホームページに掲載する予定のため、画像は必ず承諾を得たものにしてください。

るさとへの愛着が深まったと考えられる。

(学力育成の視点から)

インタビュー結果の分析の際、数学で学習したデータ活用の知識を用いて考察とまとめを行った。カグラボの方や大学生との対話、インタビュー、発表を通じて、コミュニケーションの力、プレゼンテーションの力がついた、自信がついたと感じる生徒が多かった。また、一つのテーマを1年かけてじっくりと学習したことが貴重な体験だったと感じた生徒もいた。

#### 4 課題や今後の展望

これまで、「ふるさと探訪学習」をきっかけとして、年間を通じて地域の方と関わりながら、ふるさとへの思いを高めていくことができるよう取り組んできた。今年度2年生が、「石見神楽」という地域の宝について地域内外の方と交流をしながら深く学び、発信することができた。今後も、ふるさとへの愛着をはぐくみふるさとへ貢献しようとする思いと、探究的な学習を通じた課題発見・解決能力を育てることができるように取り組んでいきたい。

